

中日本ネットワーク

東海・信越・北陸



北信越支局

NIGATA

〒950-0088
新潟市中央区万代四丁目2番23号
オフィス万代301
TEL (025) 244-7600 FAX (025) 244-7601

新潟労働局

働き方改革推進 シンポジウム開催



発表する石川社長

【新潟】新潟労働局は6日、新潟市中央区の朱鷺メッセで「働き方改革推進シンポジウム」を開催し、約200人が参加した。鉄鋼業界からは、ステンレ

ス・チタン・特殊合金を加工販売する日鉄住金工材(本社＝新潟県上越市)の石川昌弘社長がパネラーとして参加し、同社の取り組みなどを発表した。

新潟労働局の榎葉真一局長のあいさつに続いて基調講演が行われ、NPO法人「フアザーリング・ジャパン」の安藤哲也氏が「働き方改革と企業の成長戦略を考える」イクボスの育成が鍵を握る」をテーマに講演。男性の従業員や部下の育児参加に理解のある経営者や上司(イクボス)の必要性や働き方改革をする上でのポイントなどを説明した。続けて行われたパネルディスカッションで石川社長は、同社が取り組む働き方(生き方)改革について説明。社員の相互理解とサーポーターを仕合う風土作り「e職場作り」、近未来の夢を実現するための「幸せ円グラフ」、社員各人の夢を職場の仲間と認め合う「ドリームコンパ」など独自の取り組みを紹介した。生産性向上のための取り組みとして、年間を通じたローリングに

よる残業時間抑制や、スタッフの1時間単位での残業分析と業務改善などを説明。有給休暇取得促進については、あらかじめ出勤率約7割を織り込んだ生産計画を立案。個人の記念日などに取得できるハッピー休暇や多目的休暇など独自の指定有給休暇制度の導入も紹介した。

新人育成の見える化についても紹介。作業手順書(マニュアル)のデジタル化や、中堅社員と新入社員との技能度(作業時間)比較、困難な作業に対する治具などの改善を行っていることを説明した。日鉄住金工材のほか、第四銀行、博進堂、本間組がパネラーとして参加し、各社の働き方改革への取り組みを発表した。